

科目名	音響基礎演習Ⅱ	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	川井 敏生	単位	1	年次	1

＝授業科目の目標＝

音響基礎演習Ⅰでの知識と経験を活かし、より高度な内容の修得を目指す。音響基礎演習Ⅱでは、より具体的にPAの構築操作について学ぶ。授業目標は、少数名で仮設PAの構築と、音楽的操作が行えるようになること。

＝履修の条件と学習の方法＝

やむを得なき場合を除き、欠席遅刻のないこと。(実習授業ため、人数の減少は間接的に他の受講者の履修の妨げとなる)遅刻早退は出席扱いと認めない重量物の運搬や高所での作業なども授業内容に含まれるため、作業に適した服装で受講すること。(スカート・ハーフパンツ・サンダル・ハイヒールなどは避ける)ケガなどには十分注意をすること。作業用手袋(軍手ではなく革製のものが望ましい)などは各自用意すること。

＝授業内容＝

注・各種の項目はそれぞれ関連性が強いいため、授業の進み具合により順番や若干の内容変更の可能性はある。

- 1回 ガイダンス・シラバスの確認 注意事項 PA装置の設置の復習
- 2回 PA操作の基本 電源投入の順番 スピーカのインピーダンス ゲインの取り方 AUX回路
- 3回 周波数とその分割 31ポイントの暗記 グラフィックイコライザでの操作
- 4回 ハウリング取り グラフィックイコライザを使ってハウリングを取る 周波数の認知
- 5回 エフェクタの基本1 リバーブについて 効果・種類・歴史・パラメータ・実際の使用法
- 6回 エフェクタの基本2 デイレイについて 効果・種類・歴史・パラメータ・実際の使用法
- 7回 エフェクタの基本3 コンプレッサ・その他のエフェクタ
- 8回 PAシミュレーション(カラオケ)1
モニタ装置を含むPAセットを構築し、CDとマイクのミックスをする 「ソト音」と「ナカ音」
- 9回 PAシミュレーション(カラオケ)2
モニタ装置を含むPAセットを構築し、CDとマイクのミックスをする リバーブの付加
- 10回 PAシミュレーション(弾き語り)1
モニタ装置を含むPAセットを構築し、楽器とマイクのミックスをする ギターの弾き語り
- 11回 PAシミュレーション(弾き語り)2
モニタ装置を含むPAセットを構築し、楽器とマイクのミックスをする ピアノの弾き語り
- 12回 舞台装置について 緞帳・バトン・セリなどについて
- 13回 照明装置について 種類・目的・使用方法・パッチ方法・つり込みなど
- 14回 ホール実習(予定) 外部のホールを使い、特にめいおんホールにない舞台装置の操作などの現場を学ぶ
- 15回 まとめと習得度確認 PAセットの理解と操作他

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業内で簡単な課題に沿って機器の操作等を行い、その作業内容から習得度をはかり、単位の認定をする。出席のみでの単位認定はしない。

＝テキスト(必携)＝

不要・必要に応じプリント配布